

事前評価個表

整理番号	10
------	----

地域（地区）名	<small>ながらがわ</small> 長良川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	岐阜県	対象市町村	岐阜市ほか8市町
事業実施期間	R8年度～R12年度（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は、岐阜県のほぼ中央に位置し、西北端の<small>はくさん</small>白山山系の<small>ちょうしがみね</small>銚子ヶ峰（標高1,810m）を頂点として、北部の山地から南部の<small>のうび</small>濃尾平野まで続く南北に長い区域である。</p> <p>本地区の総面積221千haのうち、森林面積は167千ha、（森林率約76%）であり、このうち民有林は162千ha（森林全体の約97%）を占めている。</p> <p>本地区の民有林のうち人工林は83千ha（約51%）であり、県平均の46%を上回り、人工林の割合が高い地域となっている。また、本地区の人工林は12齢級をピークとした構成となっており、適期の森林整備が求められている。</p> <p>しかしながら、現在の森林・林業を取り巻く情勢は、木材自給率や材価の低迷、林業従業者の高齢化等により厳しい状況にあり、森林の整備状況は低調で、森林が本来持つ国土保全、水源涵養等の公益的機能を十分に発揮できていない状況である。</p> <p>一方、県内では大規模な木材加工施設やバイオマス発電施設等が稼働し、木材需要が拡大している。今後木材の安定的な供給を通じて、ますます地域経済の振興に寄与していくことが求められる。</p> <p>このような状況を踏まえて、本地区では、長良川地域森林計画に基づき、より効率的に施業を実施するための基盤整備や高まる木材需要に対応するために意欲と能力のある林業事業者による集約化された計画的な森林施業の促進をしているところである。</p> <p>本事業では、森林の有する多面的機能の維持・増進を図るために、森林計画等に基づく、造林、保育、間伐等の適切な森林整備及び路網整備を実施するものである。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：5,958ha 人工造林、鳥獣害防止施設、下刈り、枝打ち、除伐、間伐等</p> <p>路網整備：5,780m 林道開設</p> <p>総事業費：7,118,521千円（税抜き 6,471,383千円）</p>
費用便益分析結果	<p>$B/C = 4.72$</p> <p>（総便益（B）=36,811,315千円、総費用（C）=7,802,913千円）</p>

評価結果	<p>必要性： 水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 路網整備により森林事業地までのアクセスが改善され、人員輸送や林業機械等の搬入、木材運搬が容易となることから、効率的な森林施業や木材供給が可能となり、費用便益分析の結果からも十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性： 間伐を中心とした森林整備とそれを効率的に推進するための路網整備を実施することにより、優良材の安定的な生産に繋がり、また森林の有する公益的機能が発揮されることが期待されることから、有効性が認められる。</p>
------	---

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：岐阜県

地域(地区)名：長良川

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	9,622,677	
	流域貯水便益	2,807,337	
	水質浄化便益	10,592,194	
山地保全便益	土砂流出防止便益	7,641,350	
環境保全便益	炭素固定便益	2,036,017	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	145,935	
	木材利用増進便益	69,428	
	木材生産確保・増進便益	3,161,779	
森林整備経費縮減便益	造林作業経費縮減便益	1,352	
	森林管理等経費縮減便益	21,011	
	森林整備促進便益	712,235	
総 便 益 (B)		36,811,315	
総 費 用 (C)		7,802,913	
費用便益比	B÷C=	$\frac{36,811,315}{7,802,913} = 4.72$	

参考

費用便益比 (i=0.02)	B÷C=	$\frac{58,543,650}{9,248,869} = 6.33$	
費用便益比 (i=0.01)	B÷C=	$\frac{76,563,487}{10,281,911} = 7.45$	

森林環境保全整備事業 長良川地域(岐阜県)概要図

